

鶴岡ロータリークラブ会報

8 2 3

1975-9-30 No.14

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (我等の生業)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

◆ 9月23日第2回クラブ協議会開催、各委員長ご苦労様でした。

2時間半の熱心な討議と早坂PGのアドバイスもあり、充実した協議金ができた事に感謝します。

◆ 前例会に於いて地区大会参加者増の要請を致し、お蔭様で22名となりましたありがとうございます。

◆ 出席率の問題、地区クラブ奉仕委員長(庄司PG)は地区の目標を93%に設定していますが、わがクラブもこの平均値まで努力したいと思います。出席委員の有効なアイデアと活動を期待します。

◆ 幹事報告 雑件

◆ ローターアクト委員会 高橋良士君……鶴岡ローターアクトクラブに皆様の協力をお願いしたい、出来得れば一事業所一名の推薦をお願いしたい。

◆ 鶴岡ローターアクト委員長スピーチ

◆ スマイル 親睦委員 上林一郎君

◆ 西クラブ原田行雄君スピーチ (後述)

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

旧満州訪問記 スピーチ要旨

原田行雄君（鶴岡西RC）

私は今年の3月に訪台致しましたが、今日中国を訪れるに際してパスポートのことで色々トラブルがあると聞いていましたので、別に新しいパスポートを貰って台湾に行ってきた事のないように繕って行って参りました。さて、この訪中国の目的と構成を申し上げますと、これは山形県が計画したのですが、県には日中友好協会と日中友好正統本部というものが有り、私はその正統本部の企画により日中友好議員連盟（会長鈴木県会議員）それと山形県日中農民交流協会、山形新聞、が発起人となって山形県各界から日中友好を目的として訪中しようと、昨年の暮から計画され今年の2月から具体化して来たものです。私達水産関係に話しがあったのは今年の6月からであります。これは昨年酒田市の相馬市長の企画による訪朝団に参加した事等から私に話しがあったものと思います。今日10分位で訪中の全容を話す事は無理ですので、私の行って来た所を駆足で報告致します。後で質問等を戴きたいと存じます。

構成は4団体で約20名、通訳を含めまして21名でしたが、県でも内陸の方が多く、庄内では佐藤よしみさんと私の2人でございました。

訪中の目的は日中友好が主目的で田中総理が訪中して日中友好条約を早く結びたいという意志を伝えて参った後を受けて、民間で相互訪問し合いお互いに話し合い、識り合い一日も早く条約を結ぼうではないかという事でございます。向うの言葉で申せば世々代々、嗣子孫々に至るまで永久に平和の約束を結びたいという事でございました。

訪中期間は9月5日に羽田を出発致しまして大阪→上海→北京→長春→瀋陽→大連→北京→上海→東京と14日間9月19日まででございました。この2週間では政治的な事等は判りませんし、その任でもありません。つい口がすべっても他意がある訳ではありませんので、前もって御了解願います。

訪問地はいずれも中華民航を使いまして飛行機で行って参りました。北京に4日滞在しましてから真直ぐ長春（旧新京）に参りました。それから瀋陽（旧奉天）に3泊4日居りましたがその間撫順に行って参りました。

撫順では石炭の露天掘り、石油コンビナートを見て大休防潮、これは人造湖でありまして解放後造られたと聞きました。実に大きいものであります。時間もありませんので項目だけ説明して後は質問を戴きたいと思ひます。項目というのは訪問地の項目です。

北京 北京は国直轄市というのだそうです。国直轄市とは北京、上海、天津でありまして日本でいえば東京、大阪、名古屋というのに当ると思ひます。北京は人口757万（公称800万）そこで外文印刷工場（外国向の印刷物を刷る所）、故宮（清の時代に皇帝が住った所）、万里の長城、十三陵、日中友好協会の表慶訪問、市内東城区和平里（市内地の労働者の集会所であ



って革命委員会が権力を持って指導している、隣組みたいな処です)、第6幼稚園、市内防空壕(北京には至る処に防空壕がありまして、私達の行った処もある商店の地下室でありまして相当の人が入られる様になって居り縦横無尽に通路があります。ご存知のように中国は常に臨戦対勢にあります)

長春(旧新京) は人口130万人の都会で初めに見ましたのは第一自動車工場でしたここはトラック専門工場で車は全て緑色に塗って居りました。日産200輛の規模で生産して居りました亦その附属小学校も見ました。長春には南湖公園があります。ご存知の方も居られると思います。

往時は関東軍司令部があったのですね。私は戦争中は4年半もっと北のソ満国境に近い所に居りましたのでここは知りませんでした。昔の関東軍司令部、憲兵司令部の建物がその儘残って居ります。私達は駅前の吉林賓館に泊ったのですがここは旧大和ホテルであります。ここもご存知の方が多いと思います。その窓から見ますと、中国は住宅難であるという事が充分判るような気がしました。

次に**瀋陽**に行きました。昔の奉天です。ここは400万人の都会でありまして人口の半分は市に居りまして半分は郊外に居ります。宿泊は遼寧賓館でした。これも旧大和ホテルでございます。大和ホテルというのは私は知りませんがこれは満鉄が造ったのだそうです。仲々立派な建物であります。ここではまず遼寧展覽館に参りました。ここでは解放後どんどん造られている大型重工業とか撫順の炭鉱とかの資料がありまして説明して貰いました。云い忘れましたが北京で2人の通訳がつかまりました。一人は昨年大学を出たとかで今一人は50年配の人でこの人は日本人以上に日本語がうまい。冗談でも何でも仲々たいしたものでした。この人が15日間、監視もかねて終始吾々について廻りました。

亦ある地区に行きますと、そこでも2人位の通訳がつかまりましたのでいつでも5~9人の通訳が居った事になります。非常なサービスぶりでした。撫順では弁当をもたず旧満鉄クラブで昼食をとりました。撫順は人口190万人、石炭の露天掘り石油第2工場、その他を見ました。

大連に参りました。大連は海岸にありますので、こんどは原田お前が主役だと云われまして向うの水産公司に参りまして色々突込んだ事を見たり聞いたりして参りました。大連ではローア学校、ガラス工場、サナトリウム療養所に行きました。“老こたん”という所をご存知ですか、或いは星ヶ浦、ここでは昔海水浴をやったものだそうですね。

その他ディーゼル機関工場、旅大の紅衛小学校では実弾射撃或いは防空壕を見て来ました。言い落しましたが長春で吉林師範大学附属中学校で生徒が日中友好の歌というのを歌って居りました。ここでは日本語と英語が正課になって居りました。

瀋陽で農民と話す機会がありました。水田をやっています。人民公社を作りまして日本と同じ様な農家町です。農民と話しをしたり生活様式を見るという事で民家に行きまして家主の人と話しを致しました。いずれも大歓迎でありまして熱烈歓迎の垂幕をさげどこでも大変なものでした。

以上全く駆足の説明を致しましたが残り時間皆さんの質問に答えたいと思います。

質問 貴方が今まで持っていた考えと行って見て違っ居った事はありませんでしたか。

答 これですが私は文革というのがプロレタリア文化革命という事が薄々しか判らなかった

のですが行って見てこれが中国でなぜやらなければならなかったかという事ははっきり判りました。非倫、非行とか水滸伝を批判する運動があった事は皆さんご存知の事と思いますが、そうした精神革命が行き届いて来たという事は異常な程でした。

質問 中国に行つて貴方がたが見たいと思う事をみせないという事はありませんでしたか。

答 私の感じでは北朝鮮は見せなかったのです。それに較べ中国はオープンだあとと思ひましたね。見せる所がきまっている事もあるでしょうが民家でもこれは上流家庭ではないただ一番下でもありません中流ですよ、と、云います。どうぞ見て下さい。町では自由に話して下さいといった調子でした。それが北朝鮮では泊宿所から、一步外に出る商店に買物に行く事も出来なかったのに較べれば雲泥の差でした。

質問 北京などで町に店、いわゆる商店等がありますか。

答 店があります。ただ昔の様ではないそうです。然しこの問題で毛沢東と林彪、劉蔣奇の意見が合わなかったのですね。共産主義でありながらなぜ店をやるのかという事ですがこれは街頭委員会でやるのです。

質問 兵隊さんに階級はあるのですか。

答 階級はありません。皆同志だそうです。それをやったのが文革だそうです。

質問 向うでは大衆に貧富の差がありますか。例えば衣食住等で。

答 中国では衣食住ではなく、食住衣だそうです。まず食べるも、革命で成功するかしないかはこの食べるものがあるかないかという事になるでしょうが、食物は大体日本円で1,700円 あれば生活出来るそうです。確かに果物、野菜は豊富な様です。私はあらゆる事をノートに書いて来ました。例えば給料、炭鉱での給料とか調べて来ましたが、時間がありませんので亦の機会に譲ります。(拍手) 録音より再生 文責 石井

ス マ イ ル

荘内銀行鶴岡北支店 9月22日オープン 風間慶三君

出 席 報 告			
本日の出席	会 員 数 72名 出 席 数 56名 出 席 率 77.78%	欠席者	阿宗君、阿部(襄)君、安藤君、板垣君、玉城君、小池君、今野君、斎藤(信)君、進藤君、鈴木(弥)君、高橋(正)君、横山君、佐藤(宇)君、鷲田君、菅原(辰)君、藪田君
前回の出席	前回出席率 73.61% 修正出席数 65名 確定出席率 90.28%	メーク アップ	風間君一新潟RC 藪田君一仙台RC 安藤君、市川君、板垣君、三井(健)君、佐藤(友)君、佐々木君、進藤君、菅原(啓)君、菅原(辰)一鶴岡西RC 玉城君一外国RC
ビジター	池田好雄君一立川RC 原田行雄君、阿宗健一郎君、石寺龍象君、上野十九治君一鶴岡西RC 西村石蔵君一酒田東RC		